

名古屋の国民健康保険 保険料引き下げ、減免制度改善を

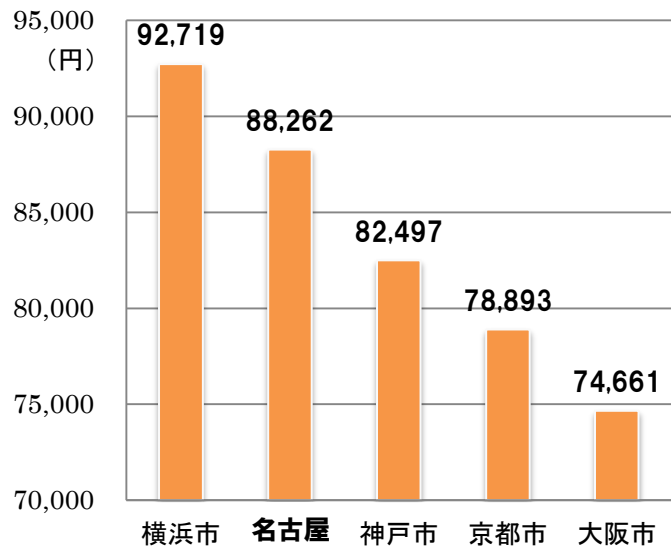
**今年度、平均3,213円引き
下げ……でも、まだ高い！**

名古屋市の国民健康保険料は、40代夫婦・子ども2人：所得266万円なら年間39万円（15%の負担）にもなります。

これは国の補助金が大幅に減ったことに加え、名古屋市も国保会計への独自繰入を224億円（2002年度）から72億円（2013年度）まで3分の1に減らしたことが大きな要因です。

2015年度、名古屋市は、国の制度改革による財政支援を受けて、保険料を平均で3,213円引き下げました。それでも5大政令指定都市の中で2番目に高い保険料です。さらなる保険料引き下げが必要です。

5大都市で2番目に高い、 名古屋市の国民健康保険料



**僕たちも“保険料”払うの？
子どもに保険料かけないで！**

会社員など勤め人が入る健保組合や、協会けんぽの場合、扶養家族が増えても保険料は増えません。しかし、国民健康保険は、生まれたばかりの赤ちゃんにまで保険料がかかってしまいます。

子育て世代は給料も安く大変です。せめて子どもが18歳になるまでは、保険料をかけない。そんな国保制度にしていきましょう！

加入者2人に1人は保険料を下げられます。該当世帯の自動減免を

名古屋市の保険料減免制度は、申請をしないと減免されません。このため、国保加入者のうち、2人に1人は申請すれば減免できるのに、実際に減免できた方は該当者の5人に1人となっています。

市は2015年度「あなたの世帯は減免の要件に該当しています」とチラシをつくりPRに努めていますが、対象者全員に自動適用するよう、改善を求めます。

**名古屋の国保と高齢者医療
をよくする市民の会**

(連絡先) 名古屋市北区柳原3-7-8
(Tel) 052-961-1983 (Fax) 052-971-4326